

アル・アクサ洪水 1 1 3 日目

脇浜義明訳、大賀英二補訳

Palestine Chronicle, 2024年1月27日より



冷たい雨が降り注ぐテントの中で眠るパレスチナの子供たち (Phot.via Eye on Palestine)

ガザでのイスラエル戦争に対する国際司法裁判所の裁定に関して、失望と興奮の入り混じった複雑な感情がある。

どちらにせよ、裁定によって現実が変わることはない。イスラエルは相変わらずパレスチナ人の殺害・破壊を続けており、米国によるイスラエルのガザ虐殺支援も相変わらず続いている。

一方、パレスチナ人とアラブレジスタンスは幾つかの戦線でイスラエル軍への攻撃を強化した。

ガザ保健省によれば、10月7日にイスラエルが開始したジェノサイドによるガザでのパレスチナ人の死者は26,257人、負傷者は64,797人で、その大半は女性と子どもである。

1月28日(日)、0:50 a.m

ジェレミー・コービン： 英国が他の諸国に倣って UNRWA への拠出金を止めたのはパレスチナへの集団懲罰になる。

スコットランド： 現時点でスコットランドは UNRWA に資金拠出する計画はない。

米中央軍： 昨日、フーシ派がマーシャル諸島共和国の国旗を掲げた船舶を弾道ミサイルで攻撃した。

住居の権利に関する国連特別報告者： イスラエルは、占領者としてガザの住民の生活を保障する責任を負っている。

国連人道問題担当事務次長： ガザ住民は想像を絶する恐怖と欠乏に苦しんでいる。彼らを見捨てるべきではない。

1月27日（土）、11：20 pm

アル・ジャジーラ： ドイツは UNRWA のガザでの活動を支える資金を停止した。

国際ジャーナリスト連盟： イスラエルが国際司法裁判所の報道関係者の殺害をやめよという裁定に従わない場合は、イスラエル高官を告訴すると宣言。

UNRWA 事務局長： UNRWA への拠出金停止は驚くべきことで、当機関の人道的支援活動に支障をきたす。拠出金停止を決定された国々に再考を促したい。

元 UNRWA スポークスパーソン： 英国の UNRWA 拠出金停止はまったく偏見に基づく一方的判断で、弱者を懲罰する行為である。

1月27日（土）、10：00 pm

チャンネル12（イスラエルのテレビ）： ガザには軍事政府が樹立され、民政を司る。

ガザ政府メディア事務所： 10月7日以来イスラエルによって殺害された記者の数は、本日「ショール・アル・アクサ」ラジオのアナウンサー、リヤド・アル・ラワグが殺害されて、120人になった。

ガザ保健省： ハーン・ユーニスでは、ナセル病院は占領軍により包囲されて血液関連の器具が不足、緊急事態に陥っている。

アル・ジャジーラ： イスラエル警察は、人質解放に力を入れよと要求する人質の家族のデモを弾圧した。

ガザ保健省： ナセル病院の発電機が止まるまで秒よみ段階。

イエメンへの国連特使： フーシ派は、世界経済に脅威を与える行為では平和が達成できないことを理解すべきだ。フーシ派の行為はガザ回廊に物資を送ることの妨害にもなる。

1月27日（土）、8：30 pm

ガザ保健省： ナセル病院では麻酔薬が底をついた。

ネタニヤフ： 戦争の完全勝利と人質奪還だけが我々の目標だ。調査等は戦後にやればよい。

イスラエル軍： 北部戦線への戦闘部隊増員と、予備役の落下傘部隊を招集して市街戦の訓練を行うと発表。

アル・ジャジーラ： テルアビブで「ネタニヤフ内閣総辞職と早期選挙」を求める数千人のデモ。

アル・カッサム旅団： ネタニヤフ政権がガザ戦争を続けるのであれば、人質の家族宛に、人質全てが巻き添えで死ぬ可能性があるというメッセージを発表。

アル・クッズ旅団： ガザ南部のハーン・ユーニス南西部でわが戦士たちが占領軍とその軍用車両を迫撃砲で攻撃した。

1月27日（土）、7：00 pm

アイルランド外務相： わが国は UNRWA のガザにおける貴重な仕事への拠出金を差し止めることをしない。

パレスチナ・メディア： 4人の住民がイスラエル軍のハーン・ユーニスの西のマラルハ地域を標的にしたイスラエルの爆撃で死亡、多数が負傷した。

元イスラエル首相オルメルト： イスラエル政府は直ぐに停戦し、人質交換の交渉をすべきだ。

フィナンシャル・タイムズ： 英国はハマス対イスラエル戦争を終わらせる5項目を提案¹。

訳注1：パレスチナ国家樹立を安保理で米国が承認し、アラブ平和維持軍を新国家に派遣。アッパースが退任して名誉職につき、ハマス指導者は外国へ移住し、ハマスは今後イスラエルを攻撃しない。人質とイスラエルに収監されているパレスチナ囚人の交換。これはキャメロン外務大臣が言った構想。米国はイスラエルの戦争支持と武器援助を続けると言った。

1月27日（土）、4：50 pm

国連高官（アル・ジャジーラの取材）： ガザでは220万人が餓死危機にある。

イスラエル軍： ハーン・ユーニスの南東部アル・バトン・アル・サミン地区の諸施設を爆破した。

アル・ジャジーラ： イスラエル軍は南レバノンの町アルタ・アル・シャアブを2回爆撃した。

ドイツ外務省： イスラエルはガザ回廊への救援物資の搬入を許可すべきだと声明。

1月27日（土）、3：40 pm

アル・ジャジーラ： 英国とフィンランドは将来も UNRWA 拠出金を出さないと声明。

パレスチナ・メディア： イスラエル軍は、ハーン・ユーニスの西部に「安全回路」を開き、アル・マ

ワシ（ガザ回廊の南海岸の砂漠地で、シナイ半島に接するベドウィンの居住地）から家を追われたパレスチナ人が避難できるようにすると宣言した。

アル・ジャジーラ： ハーン・ユニス市中心市街地では、イスラエル軍によるガザ回廊南部を目標とする空爆が始まると同時に市街戦が行われる。

1月27日（土）、2：55 pm

アル・クッズ旅団：我々はガザ中央のアル・マガジ難民キャンプの東でイスラエル軍車両をミサイルと迫撃砲で攻撃して補給ラインを混乱させた。

パレスチナ・メディア： ガザ市北西部でパレスチナ・レジスタンスとイスラエル占領軍の間で市街戦。

パレスチナ赤新月社： ハーン・ユニスのアル・アマル病院の中庭に避難していたパレスチナ住民がイスラエル軍の砲火で死亡。

アル・ジャジーラ： ガザ市のクウェート・メリーゴーラウンド付近の住民を標的にした爆撃で、3人も住民が死亡した。

アル・クッズ旅団：我々はハーン・ユニス市の西でイスラエル軍のメルカヴァ戦車と軍輸送車両を迫撃砲で攻撃した。

1月27日（土）、1：00 pm

アル・ジャジーラ： ハーン・ユニス東の町バニ・スヘイラを標的にした空爆でパレスチナ人2人が死亡。

ノルウェー外務省： ノルウェーはUNRWAのパレスチナ人救援を支持すると声明。

パレスチナ・メディア： ガザのパレスチナ通信会社の社員が、通信網維持作業をしていると、以前の通信保護の合意にも拘らず、銃撃されて負傷した。

ガザ保健省： 10月7日以降のガザで続くイスラエルによるジェノサイドでは、パレスチナ人死者26,257人、負傷者64,797人になったと発表。

1月27日（土）、11：40 am

アル・ジャジーラ： イスラエルの空爆の結果、28人の死体と数多くの負傷者がハーン・ユニスのナセル病院へ運び込まれた。

ノルウェー難民評議会（NRC）： ガザ戦争は対等な力の者同士の争いではない。

アル・クッズ旅団：我々は、南部ガザ、ハーン・ユニスの西部と南部でイスラエル占領軍と機関銃とミサイルで交戦した。

イスラエルTVチャンネル12： 国内のスデロット市近くの空き地にロケット弾が着地。

ヒズボラ： ジャル・アル・アラム遺跡付近に展開するイスラエル軍兵士にブルカン・ミサイルで攻撃、「直撃」に成功した。

イスラエル外務省： UNRWAへの拠出金を米政府が停止すると決定したことを歓迎する。

パレスチナ・メディア： イスラエル軍のハーン・ユニスの企業本社がある地区への砲撃で、5人の住民が重傷を負った。

1月27日（土）、10：00 am

ハマス： パレスチナ人を救援するWHOやUNRWAなどの国際機関を、イスラエルがハマス協力機関だというデマ扇動を国際社会向けに行っている²と、ハマスは非難した。

訳注2：10・7のハマスの奇襲作戦にUNRWA職員が協力したと非難、それに応じて西側先進国がUNRWAへの拠出金を停止した。日本も停止した。最近先進国の圧力に屈してUNRWAは容疑者とされる職人を解雇した。国連機関はこれまで大国に悪利用されてきたが、それに対する懲罰はなく、弱者を支援することを悪として懲罰しているのである。

アル・ジャジーラ： アデン湾の石油タンカー火災の消火活動が続いている³。

訳注3：英国の石油タンカーがフーシ派のミサイル攻撃を受けて火災。フーシ派は「わが国イエメンにたいする英米の侵略に対抗し、パレスチナ人の戦いを支援する闘い」と声明

イスラエル・メディア： ガリラヤ西部にロケット弾着地、怪我人はなし。

アル・カッサム旅団： アル・アマル地区でイスラエル占領軍の兵員輸送車をアル・ヤシン105対装甲ミサイル（ハマスが独自で開発したミサイル）で破壊した。

1月27日（土）、09：00 am

アル・ジャジーラ： イスラエル北部、レバノン国境付近の町シュロムで警戒警報サイレンが鳴った。

1月27日（土）、07：00 am

パレスチナ・メディア： ガザ南部ラファのアル・ジュナイナ地区の住宅を標的にした空爆で3人のパレスチナ人が死亡。

アル・マシラーTV（フーシ派のテレビ局）： 英米軍がイエメン西部のハデイダ県のラス・イッサ地域を空爆した。

米軍高官（ABCの取材に対して）： 米政府は中東地域の紛争エスカレートを望んでいない。

1月27日（土）、06：00am

アル・ジャジーラ： ガザのディール・アル・バラ県南西部にあるファイヤード一家では、空爆で破壊されたところへ戻って修理再建した家を標的にした空爆で、10人以上が死亡した。

パレスチナ・メディア： 過去24時間以内でイスラエルのハーン・ユニスへの連続的爆撃で、28人のパレスチナ人が死亡した。

米軍中央軍： 本日明け方、紅海を航行する船舶を襲撃するフーシ派のミサイルを破壊した。

1月27日（土）、05：00am

AFP（フランス通信社）： 安保理では、国際司法裁判所のイスラエルのガザ攻撃にかんする判決に関し、2月7日に緊急会議を開く予定。

1月27日（土）、03：00am

外交筋（アル・ジャジーラ取材）： アルジェリアがガザ状況に関して安保理会議を開くことを要請した。

ヒズボラ： レバノン国境沿いのモシャブと呼ばれる入植地であったアビビムの施設を攻撃して、成功した。

1月27日（土）、02：00am

米国防総省： 国防省はイラクとシリアにある米軍基地が攻撃されたことを公式に認めた。

1月27日（土）、01：00am

ヒズボラ： 我々はイスラエル北部の町、メトゥラ付近でイスラエル占領軍をミサイル攻撃し、かなりの被害を与えた。

UKMTO（英国海事貿易業務）： アデン湾島南部で商船がミサイル攻撃を受けて炎上中。

イラクのイスラム・レジスタンス： シリアのコニコ・ガス田とグリーンビレッジに駐留する米軍に対しドローン攻撃した。

1月27日（土）、12：00am

ヒズボラ： 我々の戦士3人がレバノン南部で殺害された。

アル・ジャジーラ： レバノン国境に接するアラブ・アル・アラムシェで1時間の間に4回警戒警報のサイレンが鳴った。

アル・アクサ洪水 1 1 4 日 目

脇浜義明訳、大賀英二補訳

Palestine Chronicle, 2024年1月28日より



ICJの判決にもかかわらず、イスラエルはガザで民間人を標的にし続けている。(Photo: via Eye on Palestine)

イスラエルの病院攻撃とガザ南部に対する空爆激化が続く中、パレスチナ人死者の数が増え続けている。

イスラエルの国連大使ギラッド・エルダン、UNRWA への資金拠出を停止した国々を批判したアントニオ・グテーレス国連事務総長を非難した。

ニューヨーク・タイムズ紙によると、イスラエル政府とパレスチナ抵抗勢力のハマスとの間での合意がもうすぐ実現するという。

ガザ保健省によると、26,422人がイスラエルのジェノサイド攻撃でパレスチナ人が亡くなっており、65,087人が10月7日に開始されたジェノサイドによる負傷者であって、その大半は女性と子どもである。

1月28日(日)、10:00 pm

ポリティコ(米国ニュースメディア): ヨルダン米軍基地への無人機攻撃で米兵3人が死亡し、複数人が負傷したことへの報復策を米政府が検討中。

パレスチナ・メディア: ガザ市の東のアル・ザイトゥーン地区でパレスチナ・レジスタンスと占領軍の間で激しい戦闘が起きている。

ムジャヒディン旅団: 我々はイスラエル軍ガザ師団(第143師団)の本部であるイスラエルのライム基地をミサイル攻撃した。

ヒズボラ： イスラエルのキルベット・マール基地に「ファラク1」ミサイル（イラン製精密ミサイル）2発を撃ち込み、直撃した。

1月28日（日）、10：00 pm

米国防長官： 我々は米軍への攻撃を容赦しない。

ヨルダン： シリアとの国境近くにある前進基地（米軍基地）へのテロ攻撃を非難する。

アル・ジャジーラ： ガザ市の住宅やアパートメントへのイスラエルの爆撃やガザ中部のスセライト難民キャンプへの攻撃が続き、40人のパレスチナ人が死亡、数十人が負傷した。

アル・クッズ旅団： ガザ回廊を取り囲む入植地をミサイルで集中攻撃した。

アル・ジャジーラ： ネタニヤフ首相のリクード党員を含む12人の閣僚と15人以上の議員が2005年にシャロンがガザから入植地を引き上げたが、そのガザに入植地を復活させる会議に参加した。これはガザ回廊からパレスチナ人を追放せよという極右の呼びかけの中で開催された。

1月28日（日）、9：00 pm

ハマス最高指導者： 海外にいるハマスの最高指導者サミ・アブ・ズーリは、米国政府にガザ侵攻の結果として中東戦争へと拡大するぞと警告したと言った。

イラクのイスラム・レジスタンス： 我々は100日間でイラク、シリア、占領地の米軍とイスラエル軍の基地を178回ドローン攻撃した。

アル・カッサム旅団： 我々はこの2日間に11台のイスラエル軍用車両を破壊した。

ワシントン・ポスト： 米国防省はヨルダンの米軍基地「タワー22」の防空不全を調査している。

アル・アクサTV： イスラエル占領軍の飛行機が今、民家を焼き払う焼夷弾でガザ市の西部と北部を猛攻撃している。

1月28日（日）、8：00 pm

カマラ・ハリス米副大統領： ヨルダン北東部にある、わが国の基地への攻撃を行ったのはイランが支援する武装グループだ。

パレスチナ赤新月社： イスラエルの戦車がハーン・ユーニスのアマル病院を包囲している。

ウォールストリート・ジャーナル（米高官の発言を引用）： イラクの民兵がシリア国境付近のヨルダンの米軍基地「タワー22」をドローン攻撃した。

1月28日（日）、7：00 pm

ヨルダン： ヨルダン政府のムハナド・ムバイディーン報道官は、米軍兵士を目標とする攻撃はヨルダン国内の基地でのものではない、（シリアにあるアル・タンフ基地を標的にしたものだ）と語った。

CNN： シリア国境近くのヨルダンの米軍基地攻撃で3人の米兵が死亡、24人が負傷した。

1月28日（日）、6：30 pm

ガラント（イスラエル建設大臣）： 我々はガザでの使命をなし遂げるまでは止めない。

ガザ政府メディア事務所： 過去2日間でイスラエル占領軍は大量虐殺を38回行い、350人のパレスチナ人が殉教者となった。

パレスチナ・メディア： ハーン・ユーニスのナセル病院にある集団墓地に、新たに35名の殉教者の遺体が埋葬された。

アル・ジャジーラ： ガザ回廊中央部にあるスセライト難民キャンプの東にある住民アパートメントを標的にした爆撃で数人のパレスチナ人が死傷。

パレスチナ・メディア： イスラエル軍のハーン・ユーニス爆撃で、この24時間で24人の住民が死亡した。

ユーロ・メド人権モニター： 損壊状態でもなんとか治療活動を続けようとしているハーン・ユーニスの複数の病院を、イスラエル軍が標的にして攻撃している。

1月28日（日）、5：30 pm

ホワイトハウス： わが国のイスラエルに対する姿勢は変わらない。

アル・ジャジーラ： ゴラン高原南のカツァーンで、レバノンからゲリラ侵入の可能性があるとして警戒警報サイレンが鳴った。

アル・クッズ旅団： ハーン・ユーニス県のアマル、アル・マスカル、アバサン・アル・カビラ地区で、我々はイスラエル軍と激戦を行った。

パレスチナ・メディア： イスラエル軍はレバノン南部のジャバル・バラット、マルワヒン、アイタ・アル・シャープの町とその付近を空爆した。

ヒズボラ： 我々はアル・アバドとタル・シャール近郊でイスラエル兵をミサイル攻撃した。

アル・ジャジーラ：レバノン南部の東部からイスラエルの上ガリラヤに向かってミサイルが発射されている。

パレスチナ・メディア： ガザ回廊北部のジャバリアで銃撃戦があった。

パレスチナ・メディア： イスラエル軍はガザ市南部を爆撃。

NBC： バイデン政府がイスラエルへの兵器輸送の中断を議論している。

アル・ジャジーラ： イスラエル野党指導者ヤイル・ラピッドが提出した内閣不信任案を、議会は明日票決する。

1月28日（日）、4：30 pm

トルコ外務省： わが国はUNRWAへの拠出金を停止している国があることを遺憾に思う。

1月28日（日）、3：30 pm

フランス外務省： フランスはUNRWAへの第一四半期拠出金を停止する。

アル・クッズ旅団： 我々はアル・アマル地区とジュラト・アル・アッカド地区でイスラエル軍車両をRPG（携行式ロケット砲）で3台破壊した。

アル・ジャジーラ： アル・アマル地区で家を破壊された住民の避難所となっている学校を標的にしてイスラエル軍が砲撃、1人死亡、多数が負傷した。

パレスチナ・メディア： ガザ回廊北部でイスラエルの砲撃が再び激化した。

ヒズボラ： 我々はイスラエル軍のラムム兵舎とその周辺をミサイル砲撃し、直撃した。

アル・ジャジーラ： イスラエル南部のスデロット、エフィム、ニルアムで警戒警報サイレンが鳴った。

チャンネル 12： イスラエル軍はケレム・シャロム検問所（訳注：ガザとイスラエル、ガザとエジプトの間の国境区間の交差点にある検問所で、イスラエルやエジプトからガザに商品を運ぶ経路）を立ち入り禁止の軍用地と宣言した。

UNRWA： UNRWAへの拠出金停止の我々の活動は数週後に不可能となるであろう。

アル・ジャジーラ： 支援物資を待っていたパレスチナ人たちが、ガザ市のクウェート・メリーゴーランド付近へのイスラエル空爆のため、負傷した。

サウジアラビア外務省： イスラエルは徹底的な兵糧攻めでパレスチナ人を餓死させようとしている。

1月28日（日）、2：00 pm

エジプト外務省： 紅海の状況はガザ状況の直接的帰結だ。

イラク・イスラム・レジスタンス： 我々はアルビール国際空港近くにある米軍ハリル基地をドローン攻撃した。

英国国防相： フーシ派の攻撃は我慢ならん。

UNRWA： 連日の雨で、ガザの家を破壊された避難民数十万人が悲惨な状態にある。

ヒズボラ： 我々は、南部レバノンのビルカット・リシャ遺跡の東に集合していたイスラエル兵を標的に精密ミサイルを発射、直撃した。

ヨルダン外務省： 12人のパレスチナ人職員がハマスに協力したからといって、UNRWAを罰するのは筋違いだ。

イスラエル軍： 戦争開始後負傷したイスラエル兵は2,765人だ。

ベン・グヴィル（極右ユダヤの力党首）： 私は国家安全保障大臣として、ガザ戦争開始のときイスラエル国民に許可した銃携帯を、さらに半年間延長することに決定した。

イスラエル軍： この24時間のガザ戦闘では、8人のわが国の兵士が負傷した。

1月28日（日）、1：10 pm

パレスチナ・メディア： ガザ北部ジャバリアでは激しい戦闘が展開しており、イスラエル機が多数上空を通過。

ノルウェー難民評議会： UNRWAの活動が止まったらガザは壊滅するだろう。

アル・カッサム旅団： 我々はハーン・ユニスで4台のイスラエル軍のメルカヴァ戦車を攻撃した。

アル・ジャジーラ： ガザ市南部で大爆発があった模様。

イスラエル軍ラジオ： わが軍の予備役旅団キリヤティ旅団はハーン・ユニスでの任務を完了し、帰国した。

ガザ保健省： アル・アマル病院とナセル病院は、周囲にイスラエルのドローンが次々と落ちてくるので、治療活動ができない。

イラン外務省： ガザ戦争はパレスチナ問題の解決にならない。

1月28日(日)、11:30am

チャンネル12: イスラエルTVチャンネル12は、南アフリカがイスラエルをジェノサイドで国際司法裁判所に告訴したことへの仕返しとしてリション・レツィオン市長が市内にある南アフリカの国旗をすべて除去せよと命令を出したが、その命令を実施している映像を流した。

パレスチナ・メディア: ガザ回廊北部の上空をたくさんのイスラエル軍戦闘機が通過。

アル・ジャジーラ: ケレム・シャロム検問所で国連や国際社会からの救援物資のガザ流入を妨害するイスラエル人のデモが4日間続いている。

アル・ジャジーラ: イスラエル軍は南レバノンのザブチンとフラの二つの町を空爆したが、死者や負傷者の発表はまだ出ていない。

1月28日(日)、11:00am

ガザ保健省: 10月7日以降のイスラエルのガザ猛攻撃で、パレスチナ人死者は26,422人、負傷者は65,087人。

パレスチナ赤新月社: アル・アマル病院で酸素備蓄がなくなった。

イスラエル外交官: グテーレス国連総長がUNRWAへの拠出金を停止した国々を批判したことで、彼を非難した。

1月28日(日)、10:00am

アル・クッズ旅団: 我々の戦士は今ハーン・ユニス市でイスラエル占領軍と激しい市街戦を行っている。

パレスチナ赤新月社: アル・アマル病院周辺では依然としてイスラエル軍の爆撃と銃撃が続いている。

パレスチナ・メディア: ガザ市のザイトゥーンのサルミー一家の住宅を狙った爆撃で8人のパレスチナ人が死傷。

1月28日(日)、09:00am

マアリヴ(イスラエルの新聞): かつてはイスラエルの資金提供とイスラエル軍の支配下にあったハマスがガザで反イスラエル勢力として台頭したことにイスラエル政府は不安を覚えている。

パレスチナ・メディア: ハーン・ユニス市の南にある民家へのイスラエル軍の爆撃でパレスチナ人2人が死亡と負傷。

ウォールストリート・ジャーナル: ハマスが作ったトンネルの80%はまだ健在。

1月28日(日)、08:00am

イラク・イスラム・レジスタンス: 我々はパレスチナ占領地にあるイスラエルのゼブロン海軍施設を標的にした。

アル・ジャジーラ: ガザに隣接するキブツのキスフィムで警戒警報サイレンが鳴った。

国連事務総長: 9カ国がUNRWAへの拠出金停止を発表したことに関して、事務総長はUNRWAのガザでの活動を確保することを拠出諸国に要請する声明を出した。

パレスチナに関する国連特別報告者: UNRWAへの拠出金停止はガザのジェノサイドに加担する行為だ。

1月28日(日)、07:00am

アル・ジャジーラ: ハーン・ユニスの南のアル・タヒラとアル・マナラ地域にイスラエル軍は激しい砲撃と銃撃を行っている。

ニューヨーク・タイムズ紙: 2か月間の停戦と引き換えに、人質を段階的に解放するという合意が間もなくハマスとイスラエルの間で成立すると報道。

1月28日(日)、02:00am

アル・ジャジーラ: イスラエルは、ガザ市の南西にあるテル・アル・ハワ地区へ新たに攻撃を開始した。

1月28日(日)、00:50am

ジェレミー・コービン: 英国が他の諸国に倣ってUNRWAへの拠出金を止めたのはパレスチナへの集団懲罰になる。